

## 北海道精神保健福祉審議会委員の公募結果について

## 1 北海道精神保健福祉審議会における公募制導入について

- 附属機関の委員は特別職公務員の位置づけとなっており、任用の透明性確保の観点から、全庁的に公募制導入を進めるよう、取り扱いの徹底が求められているところ。
- こうした全庁的な方針を踏まえ、当審議会においても公募制を導入することで決定し（H28. 3. 25北海道精神保健福祉審議会）、平成28年7月31日の委員改選と併せ、公募を実施した。
- 公募については、応募用紙等を各道立保健所及び市立保健所に送付し、所内に備置いただいたほか、地域の各関係先（市町村、相談支援事業所等）に対する周知を依頼した。この他、回復者クラブ連合会等にも当課から周知を行っている。
- なお、公募に当たって示した応募資格・方法等は次のとおり。

## ●応募資格

- 1 北海道に居住する満20歳以上の者（性別は問わない）
- 2 「学識経験を有する者」、「精神障害者の医療に関する事業に従事する者」又は「精神障害者の社会復帰の促進又はその自立と社会経済活動への参加の促進を図るための事業に従事する者」で、精神保健福祉について幅広い見識と関心を有し、当審議会に出席可能な者
- 3 国又は地方公共団体の議員及び職員以外者

## ●公募期間

平成28年5月16日（月）から6月15日（水）まで

## ●公募人数

1名（任期：1期3年）

## ●応募方法

テーマ「精神障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らすためには、どのような取組が必要か」に関する作文（800字以内）と道で定めた応募用紙の提出を求めた。

## 2 公募委員の選考について

- 公募の結果、1名の応募があり、平成28年7月11日（月）に開催した庁内の選考委員会における審査の結果、当該応募者を当審議会委員として選出した。

## ●選出者

一般社団法人北海道ピアサポート協会 代表理事 矢部 滋也 氏

- 平成28年7月11日、電話により矢部氏の就任意思を確認の上、同日に文書を発出。

## 3 公募実施に当たっての課題について

- 応募者が1名にとどまった原因は、当審議会委員の資格が、上記応募資格の2のとおり限定されており、広く一般の方々を対象とした公募を行うことができないところにあると考える。
- 次回公募を実施する際には、より幅広い周知を心がけるほか、当事者団体等に対し個別に説明を行うなど、多数応募いただけるような工夫が必要。

## 北海道精神保健福祉審議会委員名簿

H28.12.20現在

区分	氏名	所属	任期	備考
学識経験を有する者	委員	河西 千秋	札幌医科大学医学部神経精神医学講座 主任教授	H28.11.1～H31.10.31
	委員	河合 祐子	北海道医療大学 心理科学部 臨床心理学科 准教授	H28.11.1～H31.10.31
	委員	久住 一郎	北海道大学大学院医学研究科神経病態学講座精神医学分野 教授	H28.11.1～H31.10.31
	委員	小西 友和	札幌弁護士会 弁護士	H28.11.1～H31.10.31
	委員	千葉 茂	旭川医科大学医学部精神医学講座 教授	H28.11.1～H31.10.31
	委員	藤原 秀俊	一般社団法人 北海道医師会 副会長	H28.11.1～H31.10.31
精神障害者の医療に関する事業に従事する者	委員	芦澤 健	医療法人資生会 千歳病院 院長	H26.9.29～H29.9.28
	委員	池田 輝明	北海道精神科病院協会 会長	H26.9.29～H29.9.28
	委員	直江 寿一郎	医療法人社団 旭川圭泉会病院 院長	H26.9.29～H29.9.28
	委員	向井 正也	市立札幌病院 副院長	H28.11.1～H31.10.31
	委員	吉野 賀寿美	医療法人社団 五稜会病院 看護部長	H28.11.1～H31.10.31
精神障害者の社会復帰の促進又はその自立と社会経済活動への参加の促進を図るための事業に従事する者	委員	西村 敏子	北海道認知症の人を支える家族の会 事務局長	H26.9.29～H29.9.28
	委員	矢部 滋也	一般社団法人 北海道ピアサポート協会 代表理事	H28.11.1～H31.10.31
	委員	吉本 政秀	社会福祉法人 せらび 総合施設長	H26.9.29～H29.9.28
	委員	吉田 節子	NPO札幌市精神障害者家族連合会 副会長	H28.11.1～H31.10.31